

平成26年度

発達障がい者就業支援
コーディネーター事業報告
(27年3月末現在)

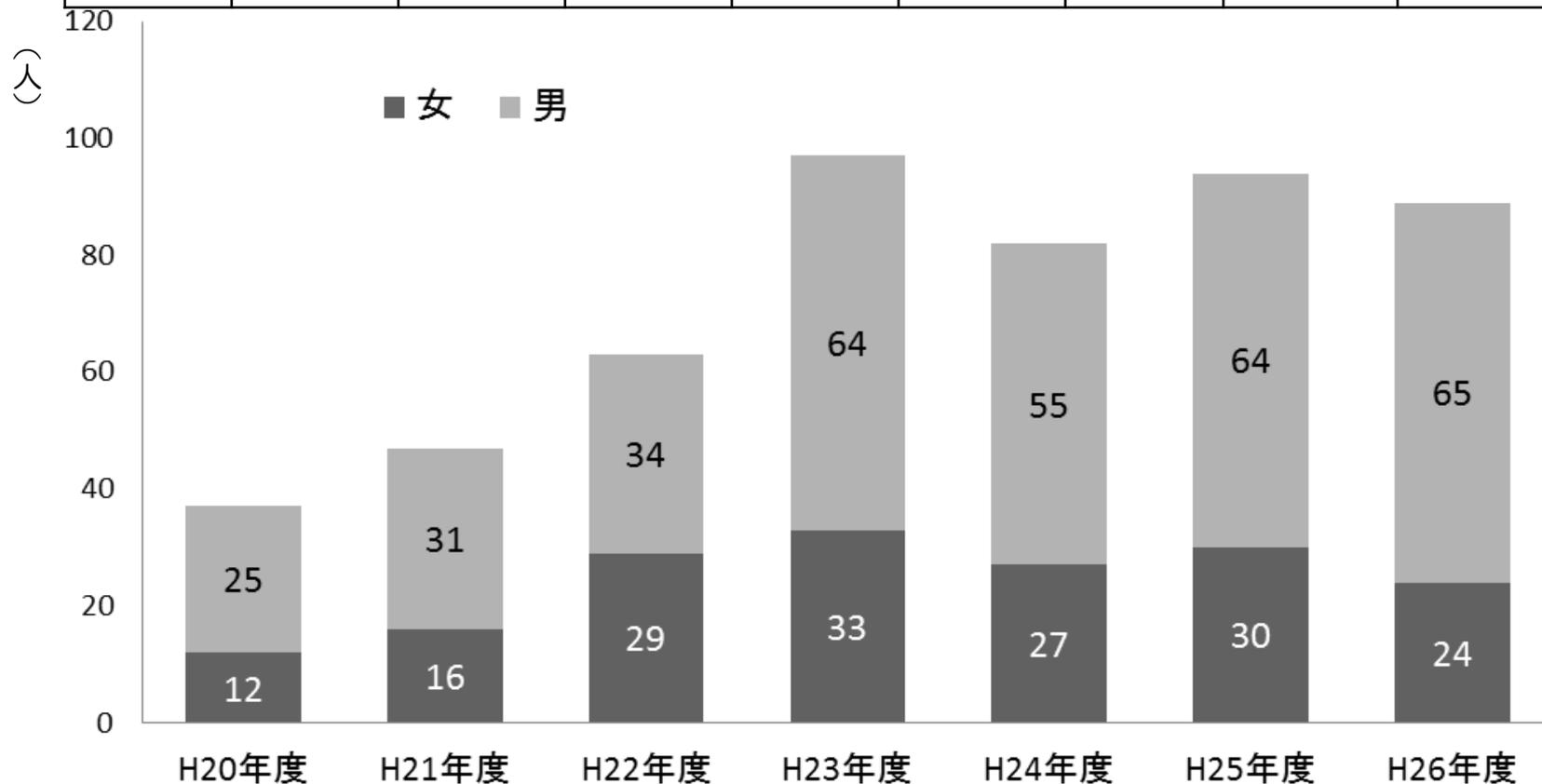
大阪市障がい者就業・生活支援センター

平成26年度新規相談者

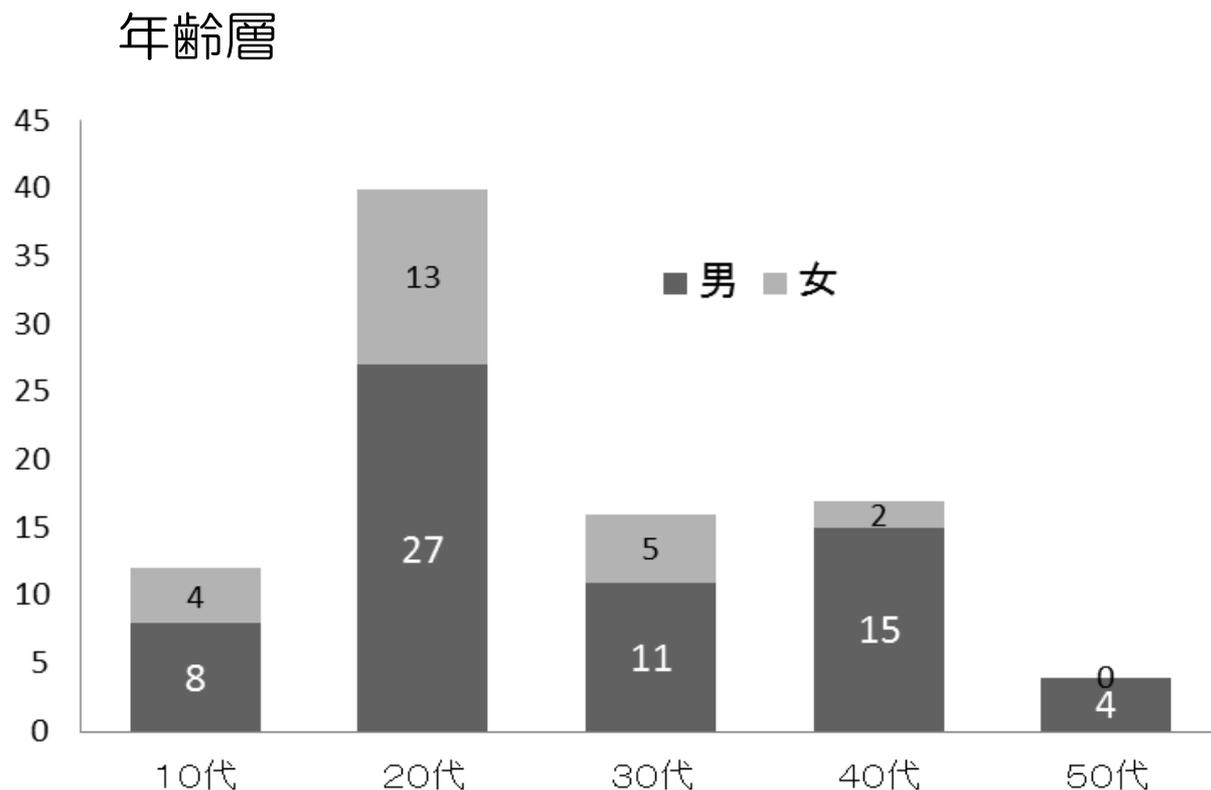
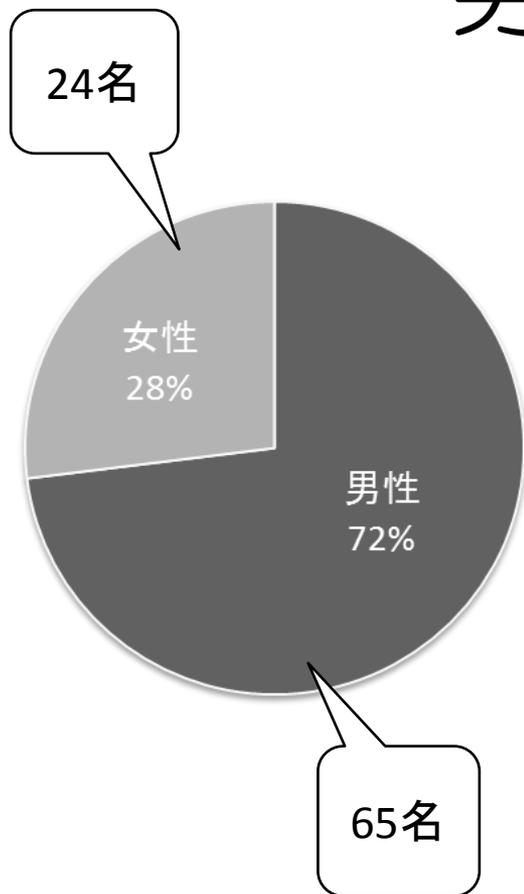
平成26年度新規相談者の状況

相談者数の変化

新規 相談者	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	相談者 合計
	37名	47名	63名	97名	82名	94名	89名	509名



平成26年度新規相談者の 男女内訳と年齢層



新規相談時の相談者の状況

その他
3%

在学中
15%

在職中
17%

求職中
64%

56名

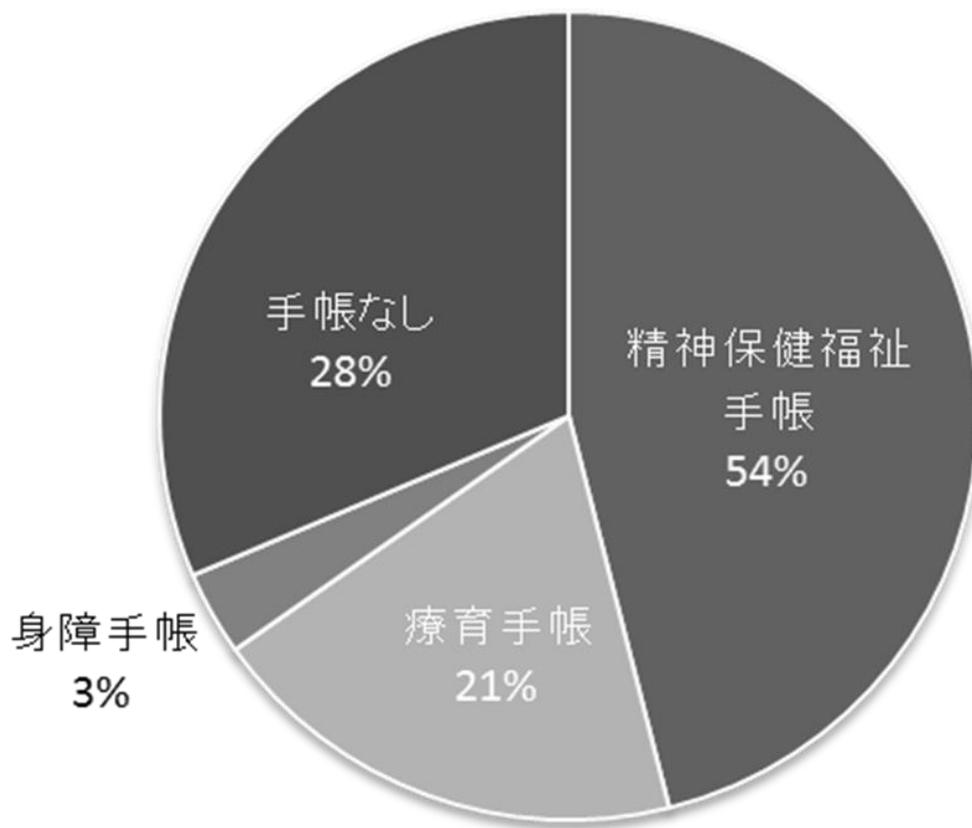
在学者
(13名) 内訳

高等学校	3名
専門学校	1名
専修学校	2名
大学	7名
特別支援	0名

在職者
(17名) 内訳

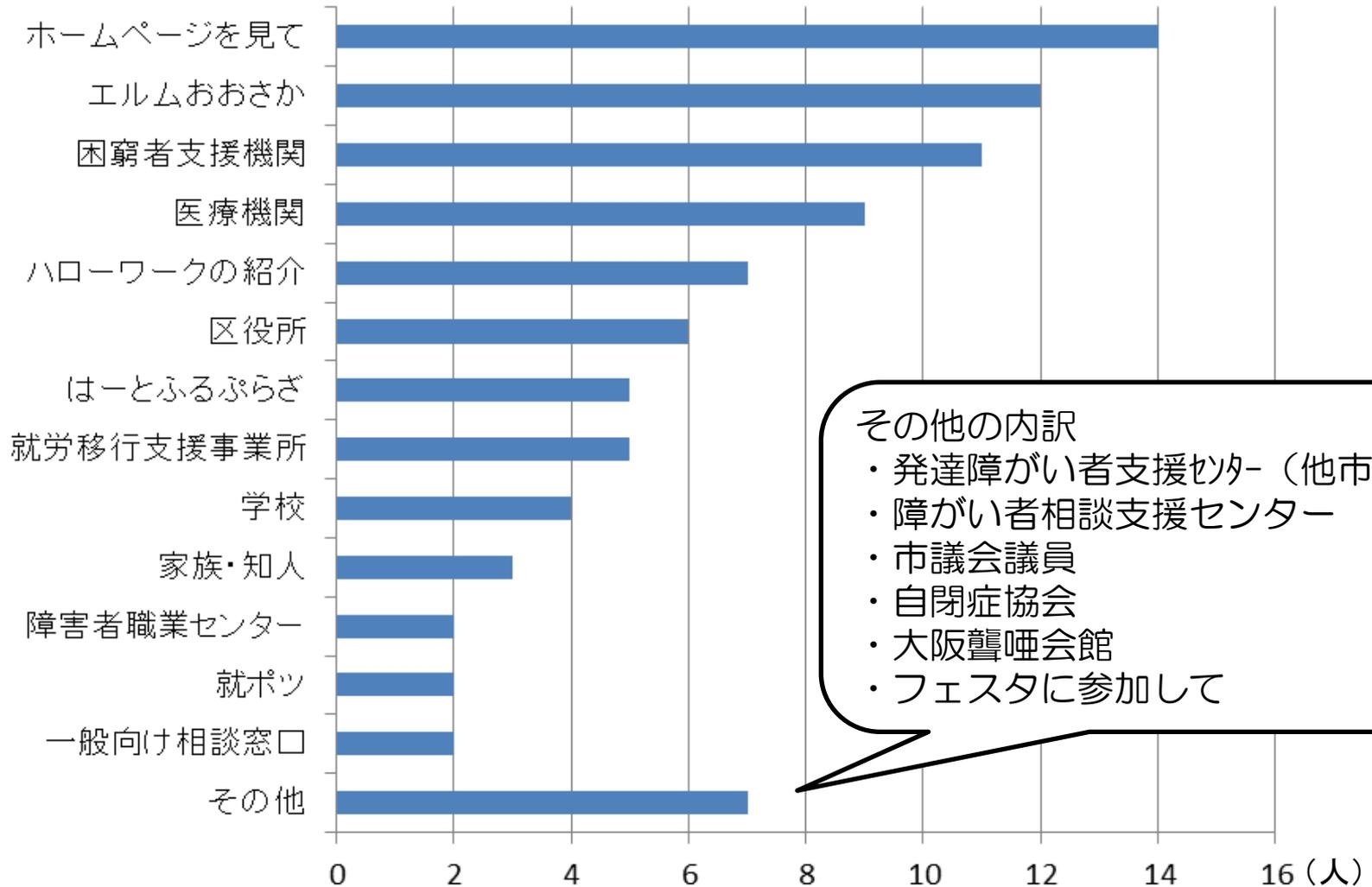
障がい者雇用	4名
一般雇用	12名
就労継続A型	1名

新規相談時に所持していた 障がい者手帳の種類

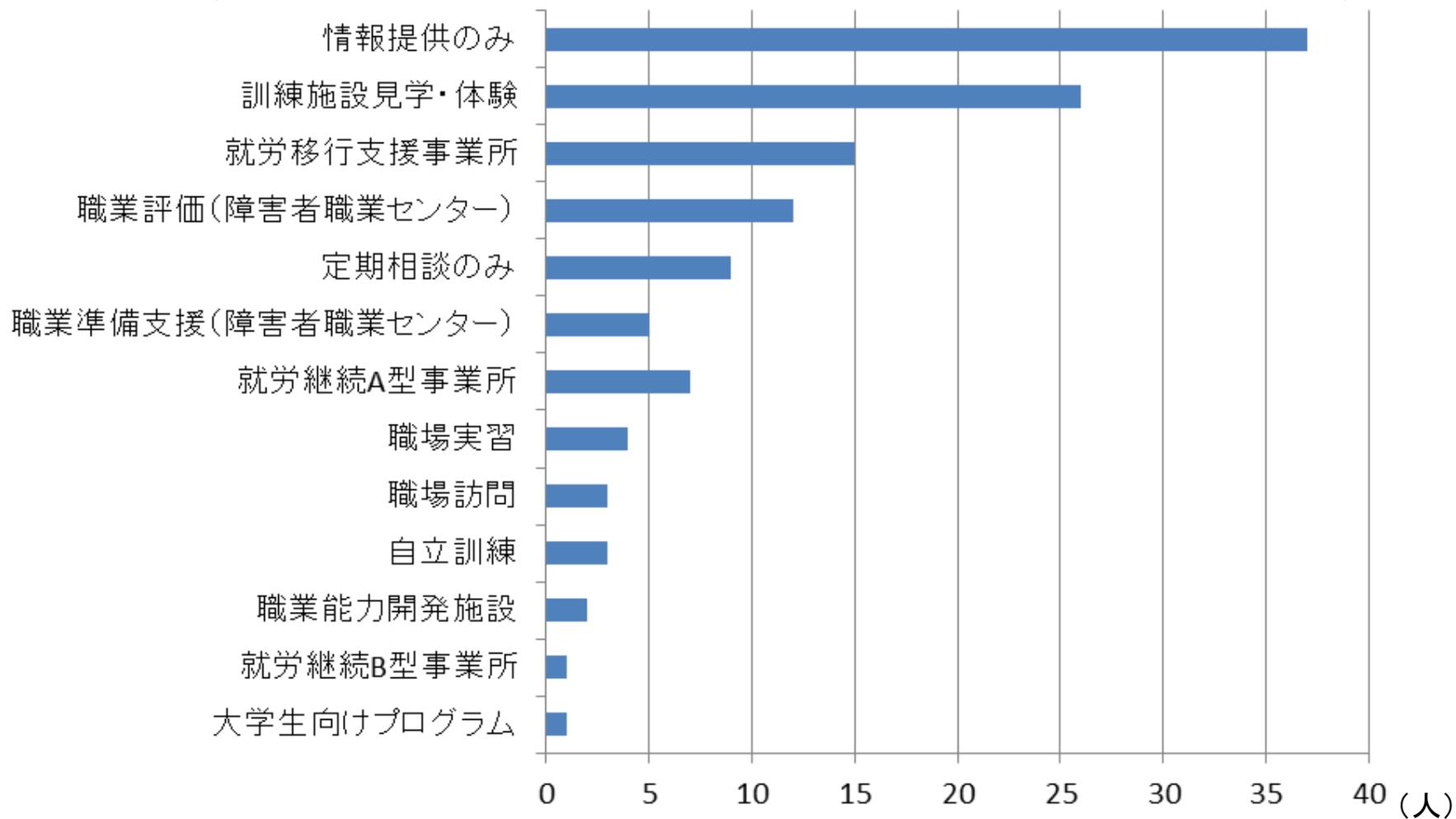


- ・発達障がいの診断はあるが手帳取得を迷う人の相談。
- ・相談時に発達障がいの診断がなかったのは89人中11人。

新規相談者の相談経路 (どこから紹介されたか)

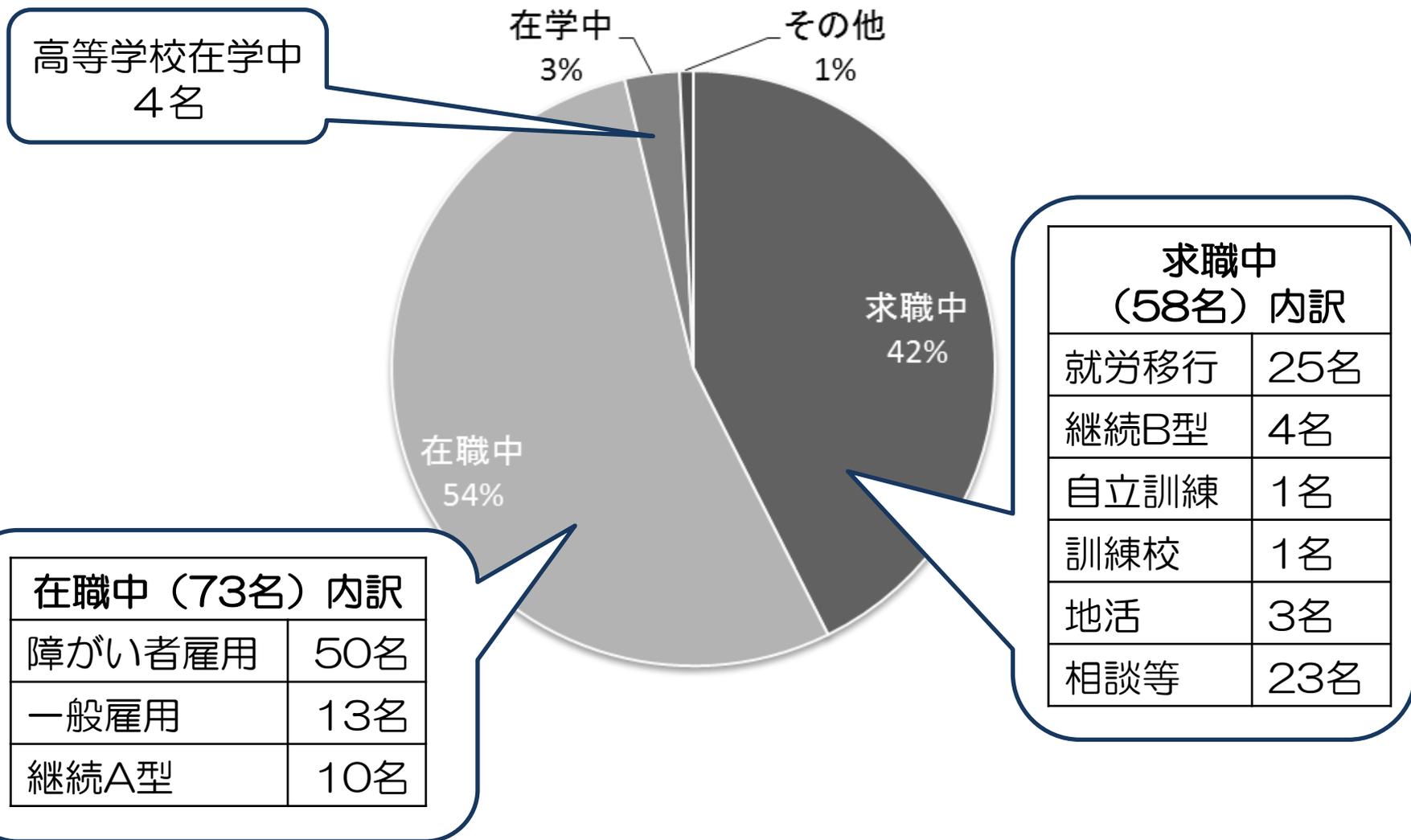


新規相談者への関わり (どんな社会資源につながったか)

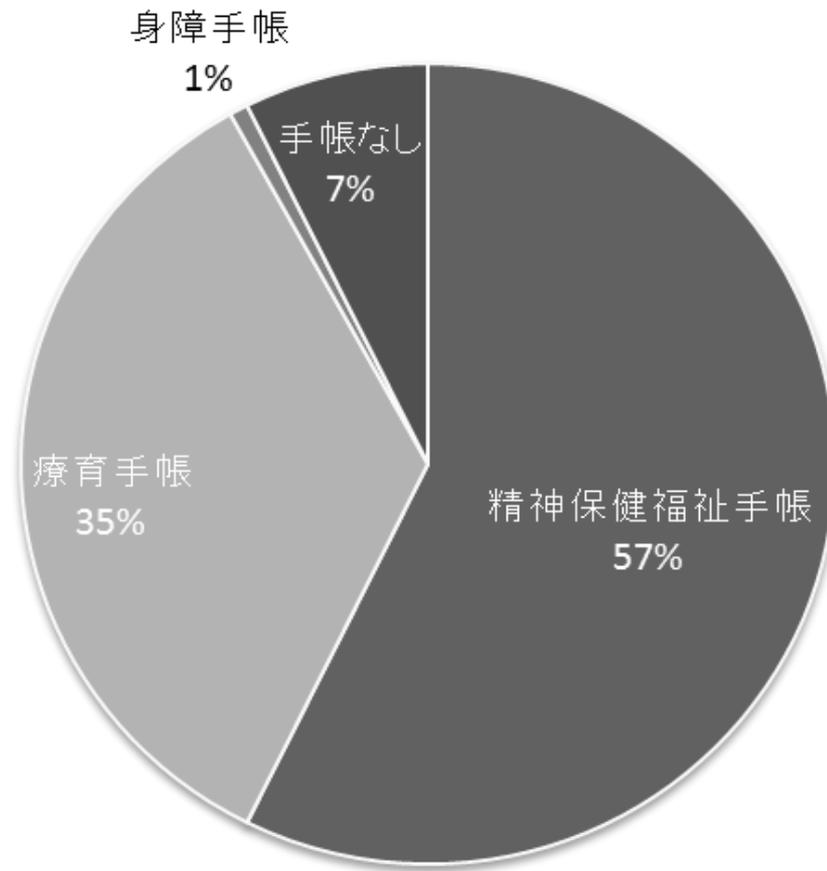


継続相談者
(平成20年～25年度に登録)

継続相談者（136名）の状況

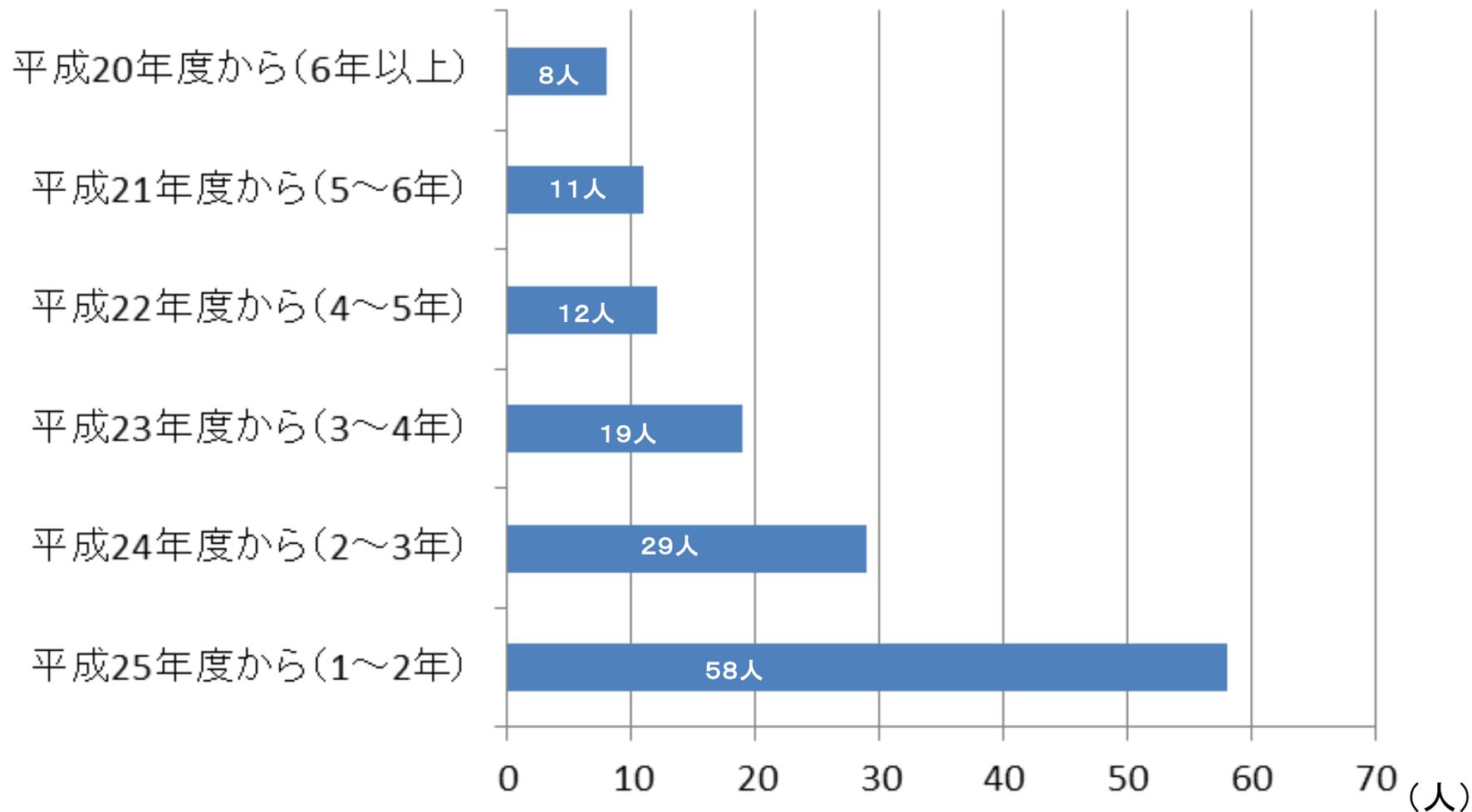


継続相談者が所持している 障がい者手帳の種類



- ・手帳を所持していない相談者は136名中10名。
診断はあるが手帳は取得せず。
クローズでの就労をしている等。

登録期間

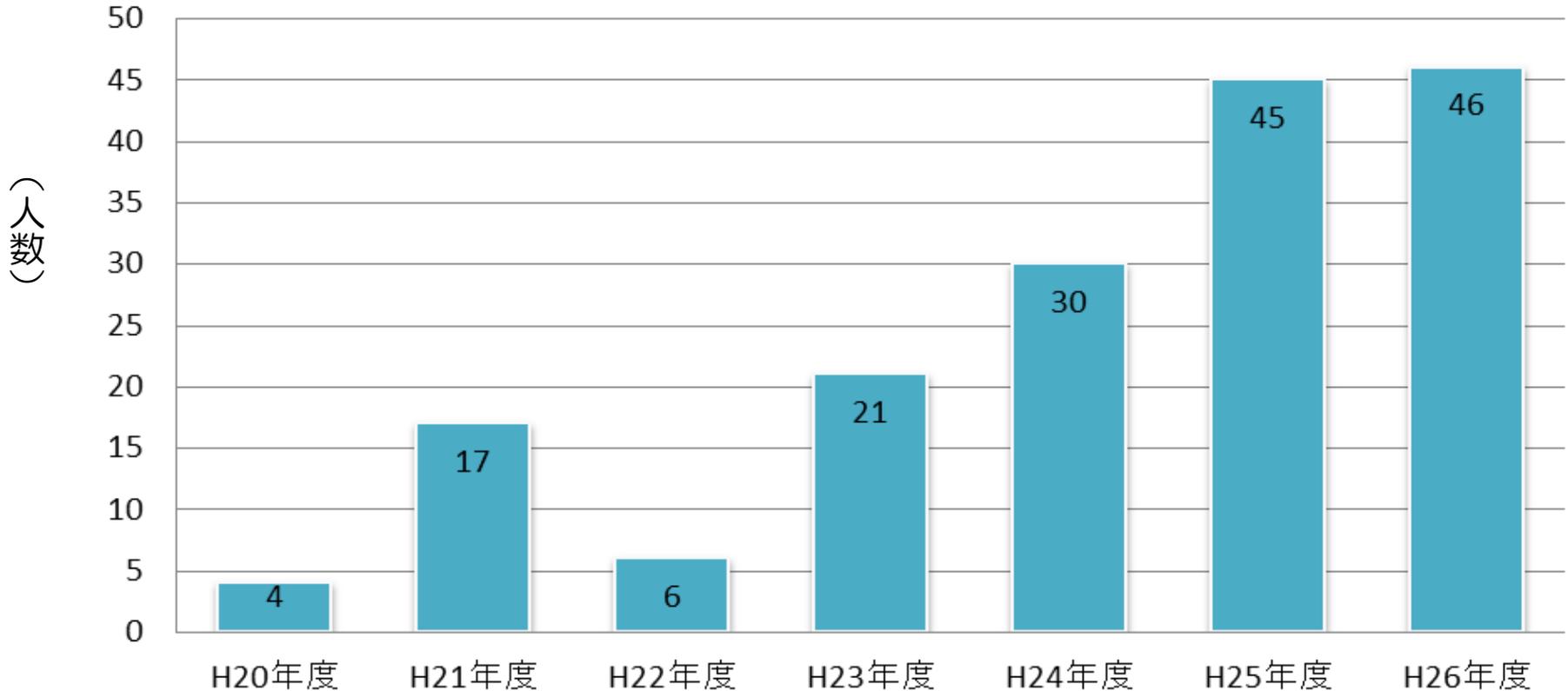


平成26年度 登録者の状況

登録者数		225名
内訳	①前年度からの 継続相談者	136名
	②平成26年度 新規相談者	89名

- ・「登録者」とは、継続した就労支援を希望している者
- ・5年以上継続して関わっている登録者の存在
→安定すれば関わりは薄くなるが、困った時に相談できる安心感。

(3) 就職者の状況



- ・ 就労前に訓練等の職業準備を行うことで、確実な就労につながっている。
- ・ 職業準備は特性の整理、苦手を補う工夫、人との関わり方の学びなど体験を通しての学びが中心となるので、数か月～数年と時間がかかることが多い。
- ・ 就労継続A型事業所が急増（市内に70カ所以上）し、利用を選ぶ人が増加。